

シリーズ学習会

建設業は、平和であってこそ ～戦時中の建設業界の実態から

第4回 全建総連(全国建設労働組合総連合)

全建総連は人間の生活で最も大切な「衣食住」のうちの「住」の生産に携わる建設職人を中心に作っている組合です。わが国の建設産業で働く者の最大の労働組合で、かつ、日本の労働組合では4番目に多い組織数となっています(2022年3月末現在の加入者数62万3828人)。

全建総連は、都道府県ごとに組織された53県連・組合の連合体です。そして、連合、全労連、全労協のいずれの労働中央団体(ナショナルセンター)にも属さない中立の産業別労働組合です。

全建総連は「個人加盟の居住地組織」の形態として出発しました。企業の枠を超えたところで、一人ひとりを説得し、本人の自発性に基づく加盟を原則にしています。ですから、会社や事業所ごとにつくられている組合ではなく、個人個人が自分の意志で地域の組合に加入するのが大きな特徴です。

全建総連は1960年に結成されて以来、綱領の中で、「速やかに全国二百万建設労働者の結集をはかる」(当時)をうたい、すべての建設労働者が全建総連に結集するために活動しています。

この仕事や産業と憲法についてのシリーズ学習会は、2005年12月から2007年1月まで7回にわたって実施したことのあるテーマです。今、改めて憲法問題を考えていただくために計画をしましたので、多くの皆さんの参加をお願いします。

日時：7月15日(金) 18:00~19:00

場所：オンライン(ZOOM)

ミーティングID：582 937 1977

パスコード：760 256

憲法労組連は、正式名称を「憲法改悪反対労組連絡会」といい、いずれのナショナルセンターにも属さない中立の労働組合で構成し、平和憲法の改悪に反対する一点で共闘しています。

2007年から2009年にかけては、平和憲法を守るため、広く世論に訴えるとともに、国会議員をはじめ地方議員や首長の方々に理解を求める要請署名で、300万筆を集約する取り組みとなりました。このほか、学習会や宣伝行動にも取り組み、平和憲法を守る活動を広げています。

構成単産は、映演共闘/航空連/出版労連/新聞労連/全港湾/全建総連/全倉運/全損保
全大教/全農協労連/日本私大教連

憲法改悪反対労組連絡会

連絡先：03-3742-3251 航空労組連絡会